

2021年2月9日

上場会社名 原田工業株式会社
 コード番号 6904 URL <https://www.harada.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三宅 康晴

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総合企画部長 (氏名) 青木 隆

TEL 03-3765-4321

四半期報告書提出予定日 2021年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	23,970	23.4	1,214		1,367		1,138	
2020年3月期第3四半期	31,301	2.7	615	51.1	507	50.4	206	75.1

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,384百万円 (%) 2020年3月期第3四半期 235百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	52.34	
2020年3月期第3四半期	9.50	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	32,443	12,178	37.5	559.93
2020年3月期	34,437	13,726	39.9	631.07

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 12,178百万円 2020年3月期 13,726百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		7.50	7.50
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	17.3	950		980		750		34.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	21,758,000 株	2020年3月期	21,758,000 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	7,218 株	2020年3月期	7,141 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	21,750,835 株	2020年3月期3Q	21,750,898 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済及び日本経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により急減速した企業収益、個人消費等が持ち直しの動きとなったものの、景気の回復にはやや鈍化の兆しが見え、依然として厳しい状況となりました。新型コロナウイルス感染拡大の影響は、期後半にかけて再び拡大の傾向にあり、不透明な状況が続いております。

当社グループの属する自動車業界におきましては、こうした世界経済の停滞により、世界の自動車生産台数が日本、アジア、北中米、欧州、全ての市場において前年同期に比べ減産となったものの、足元での自動車生産台数は回復の傾向にあります。

このような状況のもと、当社グループは足元における収益確保及びコスト競争力の強化を目的として、新たに「第二次コスト構造改革計画」を2020年4月に策定し、収益力の向上に取り組んでまいりました。「第二次コスト構造改革計画」では、2016年4月～2018年3月の2か年で取り組んでまいりました第一次コスト構造改革計画における材料費の削減等の施策を更に深掘すると共に、徹底した経費削減等、事業活動に係る全てのコストに関し、一段上の抜本的な構造の改革を断行してまいりました。

一方、中長期的な視点では、コネクテッドが実現する豊かなカーライフに貢献することを目指し、「新たな成長への挑戦」を基本戦略とした4か年（2019年4月～2023年3月）の中期経営計画「NEW GROWTH」に基づき、各施策の実行に注力してまいりました。「NEW GROWTH」では、「車載アンテナビジネスの強化」、「新しい価値づくり、新しい顧客創造」、「更なる成長の土台となる組織基盤の強化」の3つの戦略を掲げ、コスト構造改革の更なる進化による一層の収益力の向上に加え、自動運転時代到来に向けたものづくりの高度化等、特に「車載アンテナビジネスの強化」に係る諸施策を推進してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う世界的な経済の停滞による世界の自動車生産台数の減少等により239億70百万円（前年同期比23.4%減）となったものの、当第3四半期連結会計期間における売上高は、足元における自動車生産台数の回復もあり100億円となりました。

利益面につきましては、売上高の減少に伴う収益への影響を最小限に抑えるべく、固定費の抑制や徹底した経費の削減等に取り組んだものの、営業損失は12億14百万円（前年同期は営業利益6億15百万円）、経常損失は13億67百万円（前年同期は経常利益5億7百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は11億38百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益2億6百万円）となりました。しかしながら、固定費の抑制や徹底した経費の削減、また、「第二次コスト構造改革計画」における材料費の削減をはじめとした各施策を推進し、効率化を含む事業活動に係る全てのコストに関する抜本的な構造の改革に取り組んだことにより、当第3四半期連結会計期間における営業利益は2億68百万円となりました。また、同期間の経常利益は2億80百万円となり、前年における同期間の経常利益に比べ50.0%の増加となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

①日本

日本市場における自動車生産台数は、期初からの減少後、回復傾向にあるものの、前年同期に比べ減少したこと等により、外部売上高は91億90百万円（前年同期比18.6%減）、セグメント間の内部売上高は14億60百万円（同28.5%減）、営業損失は4億65百万円（前年同期は営業損失68百万円）となりました。

②アジア

中国市場における自動車生産台数は、期初における減少後、回復しているものの、前年同期に比べ減少したことや為替の影響等により、外部売上高は52億15百万円（前年同期比24.5%減）、セグメント間の内部売上高は84億20百万円（同25.3%減）、営業損失は5億57百万円（前年同期は営業利益1億64百万円）となりました。

③北中米

北米市場における自動車生産台数は、前四半期までの大幅な減少から回復しているものの、前年同期に比べ減少したことや為替の影響等により、外部売上高は68億71百万円（前年同期比30.3%減）、セグメント間の内部売上高は2億円（同418.7%増）、営業損失は2億74百万円（前年同期は営業利益2億3百万円）となりました。

④欧州

欧州市場における自動車生産台数は、前四半期までの大幅な減少から回復しつつあるものの、前年同期に比べ大幅に減少したことや為替の影響等により、外部売上高は26億93百万円（前年同期比17.1%減）、セグメント間の内部売上高は6億42百万円（同33.7%減）、営業損失は59百万円（前年同期は営業利益2億51百万円）となりました。

なお、セグメントの売上については外部顧客に対する売上高とセグメント間の内部売上高を記載しております。

（2）財政状態に関する説明

当社グループは財務体質の改善目標として営業利益率など収益性の改善ももちろんのことですが、当社グループの課題である経営の安全性を高めるため、有利子負債の削減、たな卸資産の圧縮、自己資本の充実等に努めてまいりました。この結果、次のとおりの財政状態となりました。

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は229億24百万円（前連結会計年度末248億84百万円）となり、19億59百万円減少いたしました。これは主に「受取手形及び売掛金」が4億12百万円増加し、「現金及び預金」が14億23百万円、「原材料及び貯蔵品」が3億39百万円減少したことによるものであります。固定資産は95億19百万円（前連結会計年度末95億53百万円）となり、33百万円減少いたしました。これは「投資その他の資産」が3億9百万円増加し、「有形固定資産」が2億64百万円、「無形固定資産」が79百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は324億43百万円（前連結会計年度末344億37百万円）となり、19億93百万円減少いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は183億86百万円（前連結会計年度末188億65百万円）となり、4億79百万円減少いたしました。これは主に「短期借入金」が12億60百万円増加し、「1年内返済予定の長期借入金」が9億68百万円、「支払手形及び買掛金」が4億1百万円、「未払法人税等」が2億68百万円減少したことによるものであります。固定負債は18億78百万円（前連結会計年度末18億45百万円）となり、32百万円増加いたしました。これは主に「退職給付に係る負債」が64百万円減少し、「長期借入金」が1億63百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は202億65百万円（前連結会計年度末207億11百万円）となり、4億46百万円減少いたしました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は121億78百万円（前連結会計年度末137億26百万円）となり、15億47百万円減少いたしました。これは主に「利益剰余金」が13億1百万円、「為替換算調整勘定」が2億66百万円減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期の連結業績予想につきましては、2020年11月9日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

なお、配当につきましては、当社は、株主の皆様に対する安定した配当を維持するとともに、市場拡大のための新製品開発に向けての研究開発、また、グローバル企業としてグループ各社の機能を最大限発揮させるための積極的な設備投資を行い、企業体質をより強固なものとして安定的な利益を確保し、業績に裏付けされた成果の配分を行うこととし、年一回の配当を基本方針としております。

2021年3月期の期末配当予想につきましては、経営環境の先行きに不透明感が残ることから未定としておりましたが、上記の方針や下期における業績の回復状況、財政状態等を総合的に勘案し、1株当たり5円とすることといたしました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,881,254	4,457,768
受取手形及び売掛金	6,693,388	7,105,978
商品及び製品	5,750,918	5,558,779
仕掛品	670,765	642,200
原材料及び貯蔵品	4,715,590	4,375,701
その他	1,194,199	806,379
貸倒引当金	△22,045	△22,508
流動資産合計	24,884,071	22,924,298
固定資産		
有形固定資産	6,655,728	6,390,923
無形固定資産	345,305	266,215
投資その他の資産	2,552,618	2,862,524
固定資産合計	9,553,652	9,519,663
資産合計	34,437,723	32,443,962
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,169,344	2,768,141
電子記録債務	631,159	770,049
短期借入金	11,461,618	12,722,520
1年内返済予定の長期借入金	1,000,000	31,913
未払法人税等	606,257	337,598
賞与引当金	299,257	217,022
役員賞与引当金	25,500	—
その他	1,672,516	1,539,257
流動負債合計	18,865,652	18,386,502
固定負債		
長期借入金	500,000	663,113
退職給付に係る負債	216,276	151,819
その他	1,129,480	1,063,714
固定負債合計	1,845,757	1,878,646
負債合計	20,711,409	20,265,149
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,019,181	2,019,181
資本剰余金	1,859,981	1,859,981
利益剰余金	10,211,971	8,910,492
自己株式	△2,377	△2,446
株主資本合計	14,088,756	12,787,209
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△9,162	△2,692
為替換算調整勘定	△190,434	△457,432
退職給付に係る調整累計額	△162,845	△148,271
その他の包括利益累計額合計	△362,442	△608,396
純資産合計	13,726,313	12,178,812
負債純資産合計	34,437,723	32,443,962

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	31,301,266	23,970,760
売上原価	24,467,062	19,681,904
売上総利益	6,834,203	4,288,856
販売費及び一般管理費	6,218,426	5,503,587
営業利益又は営業損失(△)	615,776	△1,214,731
営業外収益		
助成金収入	300	72,523
その他	114,240	71,900
営業外収益合計	114,540	144,423
営業外費用		
支払利息	195,677	185,716
為替差損	18,664	111,187
その他	8,272	731
営業外費用合計	222,614	297,635
経常利益又は経常損失(△)	507,703	△1,367,942
特別利益		
固定資産売却益	3,652	1,631
特別利益合計	3,652	1,631
特別損失		
固定資産売却損	124	577
固定資産除却損	8,158	1,458
その他	1,639	399
特別損失合計	9,922	2,435
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	501,432	△1,368,746
法人税、住民税及び事業税	294,679	65,800
過年度法人税等戻入額	△332,777	—
過年度法人税等	265,050	—
法人税等調整額	67,874	△296,199
法人税等合計	294,826	△230,399
四半期純利益又は四半期純損失(△)	206,605	△1,138,347
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	206,605	△1,138,347

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	206,605	△1,138,347
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,305	6,470
為替換算調整勘定	△454,852	△266,998
退職給付に係る調整額	10,586	14,574
その他の包括利益合計	△441,961	△245,953
四半期包括利益	△235,355	△1,384,300
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△235,355	△1,384,300
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症の影響に伴う会計上の見積りについて）

前連結会計年度の有価証券報告書の（追加情報）に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北中米	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	11,288,907	6,906,941	9,858,354	3,247,062	31,301,266	—	31,301,266
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,043,217	11,271,032	38,727	969,991	14,322,969	△14,322,969	—
計	13,332,125	18,177,974	9,897,081	4,217,053	45,624,235	△14,322,969	31,301,266
セグメント利益又は損失(△)	△68,097	164,346	203,800	251,401	551,449	64,327	615,776

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額64,327千円は、セグメント間取引消去であります。
 2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北中米	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	9,190,203	5,215,635	6,871,620	2,693,299	23,970,760	—	23,970,760
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,460,166	8,420,492	200,891	642,858	10,724,408	△10,724,408	—
計	10,650,370	13,636,128	7,072,512	3,336,158	34,695,169	△10,724,408	23,970,760
セグメント損失(△)	△465,321	△557,015	△274,441	△59,238	△1,356,016	141,285	△1,214,731

- (注) 1. セグメント損失(△)の調整額141,285千円は、セグメント間取引消去であります。
 2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。